



64号 令和6年9月26日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



気持ちを100%伝え切るためには？

本日のお話朝会で、9月29日（日）に行われる呉市童話大会に出場する畝本旭さん（5年）がそのお話（きむらゆういち 文・田島征三 絵『オオカミのおうさま』）を披露してくれました。とても堂々とした発表でした。本番でもきっと頑張ってくれることと思います。このことを受けて、私から阿賀っ子に伝えたことは・・・。

相手に伝えたい気持ちを100%伝えるためには・・・？

例えば、相手におわびの気持ちを伝えるために、「ごめんなさい」という言葉を言ったとします。それで、どれだけ気持ちが伝わるかというと・・・、わずか7%だそうです。

その言葉に十分気持ちを込めて言えたとしても・・・、それでも、45%。

どうすれば、100%気持ちを伝えることができるのでしょうか？

それは、相手の目をじっと見て、姿勢正しく、深々と頭を下げたとき。

そこまでやって初めて100%。

要するに、言葉だけでは伝わらない。

言葉に気持ちを込めてもまだまだ。

気持ちが読み取れる態度ができてようやく100%。

心理学の実験で明らかになっていることだそうです。

童話大会に挑戦するという事は、単に物語を覚えて感じを込めて発表する挑戦なのではなく、相手に自分の気持ちを100%伝え切る挑戦なのだと思います。阿賀っ子全員、相手に自分の気持ちを100%伝え切る自分磨きを続けてほしいと思います。

お話朝会の様子

